

闘争力下力ノ配置ト敵ノ力干係ニ於テ戦ハレルノデナケレ
 バソノ闘争ハ結局ニ於テ敗北ニ終ルコトヲ無視シタ傾向ガ
 見ラレル、カ、ル認識ナクシテ徒ニ大言壯語シ勇躍スルモ
 ノハ小兒病者デアリ、マタ敵ノ砲聲ニ膽ツブシテ逃ゲマド
 ウモノハ卑怯者デアアル。共ニ二ツ乍ラ我々ノ陣營ニトツテ
 防害物ニ過ギヌ全會内ニモコノ二ツノ偏向ガ現レタ、ソレ
 ラハ凡テノ日常闘争ニ於テ或ハ又凡ユル會議ニ於テ現ハレ
 克服ニ努力サレテ居ヌタガ所謂千葉會議ヲ契機ニ尤モ明確
 ニ現レタ、即チ千葉會議一派ハ後者デアリ千葉會議ヲ頭ゴ
 ナシニヤツ、ケタ連中ガ前者ヲ適例デアアル、
 ダガ最早今日何レモ問題トハナラナイ、本部再建闘争委員
 會モ立消ノ状態デアリ極左的指導ニヨツテモ大衆ハ決シテ
 動クモノデハナイ、コトニ現實ニ於テ指導者自身モイヤト
 云フ程見セツケラレテキルカラデアアル、見ヨ、本部ハ何處

デドウシテキルカヲ知ツテキル者殆ンドナク地方聯合會又
 單獨化ノ状態デアアル事實ハ誰モ否ムコトハ出來ナイ。

二、兵聯ノ現状

全農系ノ一聯合會トシテノ兵聯ノ現状ヲ述ベルコトハ各聯合會
 ニ相似タ姿ヲ見出セルデアラウ、
 一九三三年總本部派ニヨツテ除名解体ヲ命ゼラレタ兵聯ハ直ニ
 全國ノ同志ト共ニ全會結成ニ重大ナル役割ヲ果シ更ニ其ノ後全
 會ノ基礎確立スルヤソノ戰闘的ナ方針ニ從ツテ部落世帯役活動
 農民委員會活動ヲ通ジテ部落ノ再編成ニ努力シテ全國五十万獲
 得闘争ニ應ジテ組織ノ擴大強化ニ努力ヲ集中シタ、其間兇暴ナ
 ル支配階級ノ彈壓ヲ次カラ次ヘ受ケテ今日ニ至ツタ、會ツテ一
 九三八年頃三千五百ヲ誇ツタ兵聯ハ目下千名ニ激減シテキル、
 其ノ理由ハ支配階級ノ彈壓トソレヲ防禦スル術ヲ見出サナカツ
 タコトニ依ルノデアアル、シカン我々ハ支配階級トハ直ニドロナ